

MYANMAR

JAPON

Monthly Magazine
2024
4
vol.130

SPECIAL CONTENT

ヤンゴンは今どうなっているのか ヤンゴン定点観測アーカイブ

COLUMN

ミャンマーの経済状況がわかる連載コラム
税務会計／ジャパンアウトソーシングサービス
ミャンマーの無医村で奮闘する日本人女医
ミャウンミヤからこんにちは！／名知仁子

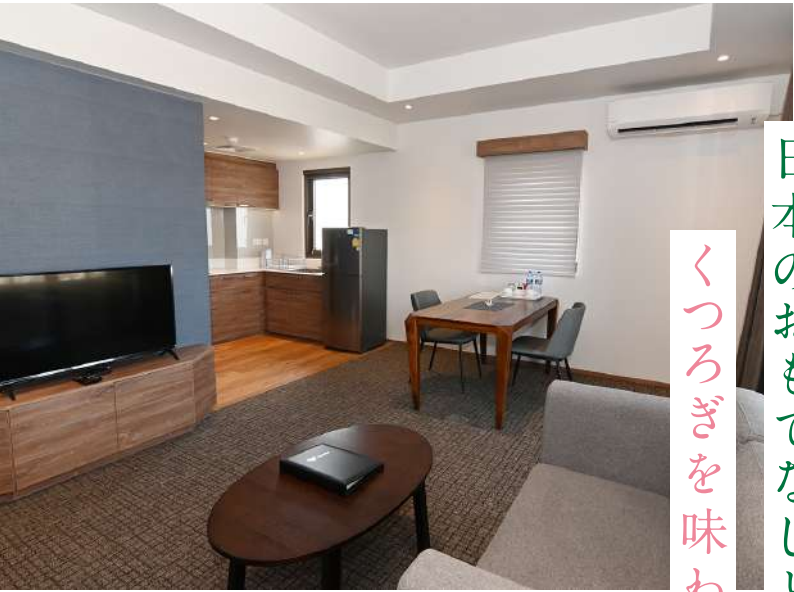
ティラワ経済特区ほか
“スマホより使える”特製MAP

TAKE FREE



Wishton Hotel Yangon

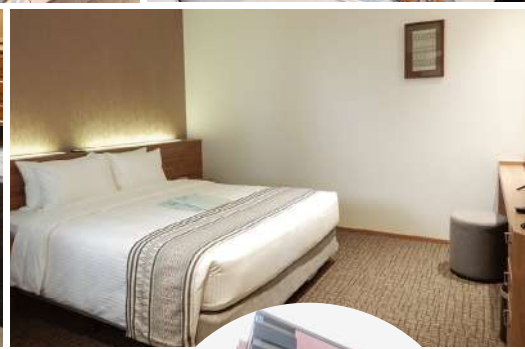
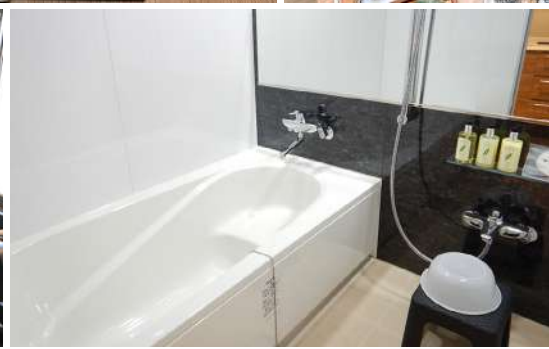
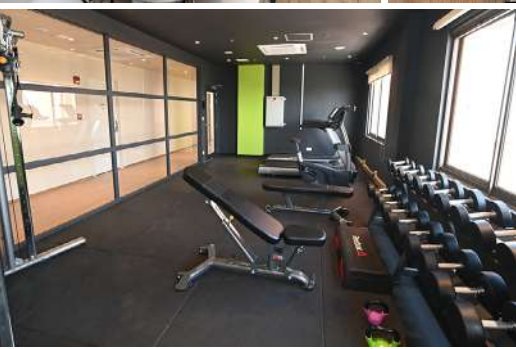
おもてなしNo1をめざして
 これからも、当ホテルはご利用いただいたすべてのお客様に、
 ころころ温まるサービスで、
 快適・安心なくつろぎの空間と時間を提供してまいります。



くつろぎを味わう

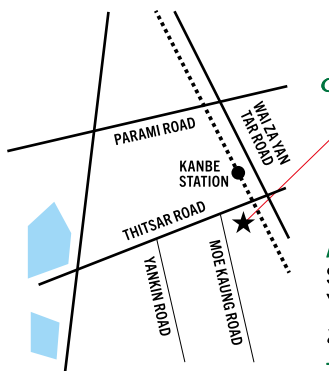
日本のおもてなしと

ヤンゴンで



日本人スタッフ、日本人シェフ常駐。 心のやすらぎを感じるホテル

- 客室91室
 (ダブル、ツイン、デラックスダブル、
 デラックスツイン、スイートダブル、スイートツイン)
- キッチン、電子レンジ、洗濯機、ベランダ付きのお部屋もございます
- ランドリー、ジム、オフィス、レストラン、
 カフェ・バー、ミーティングルーム併設
- 長期(マンスリー)のご利用も承ります



ADDRESS No.365 Thitsar Road and
 Shwe Thitsar Street(Corner), No.13 ward,
 Yankin Township, Yangon, Myanmar.
 ご予約・お問い合わせ(日本語対応可) : 9:00-18:00
TEL +95-1-572500 **FAX** +95-1-572887
MOBILE +95-9-8879-94960 (フロント予約直通)





Special Content

ヤンゴンは今どうなっているのか
ヤンゴン定点観測アーカイブ..... 4

コラム① ミャンマーの無医村で奮闘する日本人女医 ミヤウンミヤからこんにちは！..... 5

NPO 法人ミャンマー国際支援機構 (MIAO) 6

ビジネスニュースダイジェスト 8

コラム② ミャンマー税務会計 などしこ通信 9

クーデター関連ニュースまとめ 10

使える！ミャンジャポ特製MAP..... 12

ヤンゴン全域12-13 シュエダゴン・バゴダ〜インヤー湖 (南) 14-15

ダウタウン周辺16-17 ティラワ経済特区 (SEZ) ZONE A18-19

ティラワ経済特区 (SEZ) ZONE B20

毎月1日発行
ミャンマーの"使える"ビジネス情報誌

MYANMAR
JAPON

電子ブックを導入し、利便性向上!
myanmarjapon.com/magazine

皆様のお手元に届きますよう、お一人様2部以上のお持帰りはご遠慮下さい。

くわしくは

<http://myanmarjapon.com>

重点設置場所

日本 JETRO、全国 17 地銀、東京商工会議所、大阪商工会議所、および全国主要商工会議所 他

「MYANMAR JAPON」4月号 vol.130
2024年4月1日発行
MJJ ホールディングス株式会社 CEO 永杉 豊
東京都中央区日本橋3-2-1 4 新横町ビル別館第一1F
●広告掲載・取材依頼・配布に関するお問い合わせ
Tel: 03-5698-2165 (日本) Email: info@myanmarjapon.com

iSGMはDX時代に競争力高めるグローバル・パートナーとして皆様をサポートします。

ICT Star Group Myanmar Co., Ltd.

オンショア・オフショアの開発・BPO業務について豊富な経験と実績!

<p>オフショア開発</p> <p>Laravel, spring, django, MySQL, slack, mongoDB, .NET</p>	<p>クラウド 導入・監視・運用</p> <p>aws, Google Cloud, iSGM</p>	<p>AI・IOT・DT</p> <p>+tableau, ZABBIX, workato, ZETÅ Alliance, ThingsBoard, TensorFlow, trav.io</p>	<p>グローバル モバイルキャリア</p> <p>5G, O-RAN ALLIANCE, kubernetes, OPENSIFT, LPWAN</p>	<p>DX+デジタルBPO</p> <p>自動化統合管理 プラットホーム+ BPO, salesforce, servicenow, odo</p>
---	--	---	---	---

JLPT資格保有者数

N1: 2名 N2: 15名 N3: 24名 N4: 44名

Work For Smile Work For Happiness

+95 1 8619695 info@isgm2.com www.isgm2.com Kantharyar Center Office Tower - 10th floor, Yangon, Myanmar.

ヤンゴン 定点観測 アーカイブ



ヤンゴンは今どうなっているのか。最新画像とともに、主要スポットの現在をお伝えする（2024年3月20日撮影）。

徴兵制実施発表の影響か、全体的に人の動きが少なくなっている。燃油価格の高止まりで、交通量も減っているようだ。

サクラタワー前



交通量はかなり少なめ。デリバリーサービスの自転車もほとんど見られなかった。写真には写っていないが、交差点では交通警察が通行車両のチェックをしていた。

スレーパゴダ付近



スレーパゴダ通りでは、中央分離帯付近をゆっくりと歩く人が見られるほど車が少なく、不気味なほど静かだった。

ボジョー アウン サン マーケット



飲食店や貴金属販売店に立ち寄る人がチラホラ。来館者は全体的に少なく、この日は観光客の姿を見ることはなかった。

ボヤニョン通り



ほかのエリアと比べ歩行者は多かったが、停電のためか飲食店は閑散としていた。

ヨーミンジー通り



営業を再開した店舗が増え、多少は賑わいを取り戻した。駐車車両も多い。

ガソリンスタンド



在庫不足のため、油種がそろっている店舗では給油待ちの車列も伸びていた。

ミャンマープラザ



1階中央で化粧品や衣料品、アクセサリの販売が行われており、女性客が足を止めている。周辺道路の交通量は少なく、客待ちのタクシーが並んでいた。

<編集部が選ぶ過去の一枚>

クーデター後のティンジャン(2021年4月13日撮影)



軍事政権の弾圧に抗議し市民は一切の行事を拒否、街中は静まりかえった。地方では、犠牲者を弔う赤いペンキが道路に撒き散らされるシーンも。



ミャンマーの無医村で奮闘する日本人女医

ミャウンミャから こんにちは!



第25回・皆様のおかげです ～感謝とともに 次の10年へ

2020年は新型コロナウイルス感染症の世界的流行、2021年には政情激変に伴う活動の「静止」など、まさに外部の状況に翻弄された4年間でした。そのような中、MFCGの社会貢献の活動が評価され、数々の大きな賞を受賞することができました。

MFCGが設立されて10年の節目を迎えた2022年11月に「千嘉代子賞」、2023年1月に「埼玉県荻野吟子賞」、同年6月に「男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰」、8月には「外務大臣表彰」を受賞しました。これらの賞は、ソロプチミスト日本財団や埼玉県、在ミャンマー日本国大使館が推薦してくださいました。私たちの活動を見て頂いていたということは、MFCGメンバーにとって大きな励みとなりました。これまでMFCGが活動できたのは、「命の架け橋～ミャンマーを医療と菜園で笑顔に～」という私たちの目的に共感し、仲間として日本からミャンマーを想ってくださったからです。感謝しかありません。

10年を振り返ると

MFCGは2008年任意団体として東京で発足、2012年にNPO法人として登録しました。私は2015年1月から現地に移り住み、ミャンマー人医師やナースアシスタント、ドライバーの4名による巡回診療が始まりました。

当初は、様々な困難や見通しが立たない出来事が毎日のように起こり

ました。2015年9月に佐賀県にある地球市民の会(TPA)と連携し、ミャンマーで家庭菜園レベルの有機野菜栽培指導を開始したのですが、1期目の受講を希望したのはわずか1名しかおらず本当に落胆したものです。

その第1期生の女性は小学3年で退学せざるを得なかった経験を持ち、カレン族であるためにビルマ語もなかなか理解ができなかったのです。それにもかかわらず、最後までやり抜き、受講から3か月後には自分の菜園でインゲンや空心菜などの栽培をはじめたのです。その後収穫量は順調に増え、今では収入も10倍になったそうです。

彼女は「私は初めて『夢』を持つことができた。今まで10年間無農薬野菜を栽培してきたのはお金を稼ぐためです。でも今は、『自分は野菜作りが好き! 農業が好き!』と胸を張って言えます。この喜びを村の他の人たちにも伝えたい。それが、今の自分の夢なんです」と教えてくれたのです。本当にすごい! というのが私の素直な感想でした。もちろん、その喜びを支えてくださって

るのは、応援してくれている皆さまです。

次の10年に向けて

2月22日、在ミャンマー日本国大使公邸で「外務大臣表彰」の受賞式が催されました。MFCGのメンバーも参加し、丸山市郎大使をはじめメンバーの隣にはミャンマー語が堪能な大使館職員の方々のご臨席くださり、楽しい時間を過ごすことができました。メンバーは翌日、ヤンゴン日本人会主催の春祭りに参加し、スーパーボール釣りやヨーヨー釣りなどの遊びを通じて日本文化を堪能しました。初めてラーメンを食べたメンバーもおり、「ミャンマーと日本の架け橋」を改めて実感しました。

ミャンマー事情はますます悪化し、大変不安定な状況が続いています。そのような中、これからの10年に向けた計画「ミャンマー人のための循環型自立(自律)支援プロジェクト(Beyond Community～We are the One Project～)」を進める予定です。引き続きお力添えのほどよろしくお願い申し上げます。



名知仁子(なち さとこ)

1963年生まれ。88年獨協医科大学を卒業後、日本医科大学付属病院第一内科医局入局。2002年、国境なき医師団に入団し、同年タイ・メーソートの難民キャンプ、04年からはミャンマー・ラカイン州で医療支援に携わる。また、03年には外務省のODA 団体、ジャパン・プラットフォームの要請で、イラク戦争で難民となったクルド人の医療支援に参加。08年には、サイクロンで被災したミャンマーのデルタ地域で緊急医療援助に参加する。同年、任意団体ミャンマークリニック菜園開設基金を設立し、12年6月にNPO法人ミャンマーファミリー・クリニックと菜園の会(現MFCG)設立し、現職。

NPO法人 ミャンマー国際支援機構(略称:MIAO)を通じて 避難民や民主派団体へのサポートをお願いします

* 匿名でのご支援も歓迎します

ミャンマーの民主化まで匿名を希望される個人の方や企業様はご遠慮なくお申し付けください。当法人が責任をもって厳重に名簿を管理します。



2021年2月1日。ミャンマーで軍事クーデターが発生し、アウン・サン・スー・チー氏や民主派の国民民主連盟(NLD)の党員数百人が拘束されました。

国民の大多数がこれに異を唱え各地でデモを起しましたが、ミャンマー軍や警察隊はこれを弾圧し、多くの市民が殺されました。

あれから3年が経ち、ミャンマー軍と民主化勢力の衝突は激しさを増しています。現在までに多くの犠牲者

が発生したほか、UNHCRIによると280万人以上の人々が避難を強いられ、困窮した生活を送っています。

状況が悪化の一途をたどる中、私たちは困窮する避難民や民主派団体へのサポートを行うべく、NPO法人ミャンマー国際支援機構を設立しました。

ミャンマーの人々が置かれた厳しい状況を少しでも改善するための活動に対し、みなさまのご支援とご協力をお願いいたします。

WHAT'S HAPPENING

>>> 今、ミャンマーで起きていること <<<

IN MYANMAR

軍による空爆



空爆により多数の死者・避難民が発生

民主化勢力の一部は地方の村やジャングルに潜伏しています。軍はこれに対して空爆を実行。これまでにカレン州、カチン州、カヤー州、チン州や地方管区がおもな標的となり、多くの民家が跡形もなく破壊されました。

多数の避難民



国境付近に多数の避難民が発生(写真提供:井本勝幸氏)

空爆を始めとする軍の攻撃により、280万人以上が避難を余儀なくされています。国内避難民だけでなくタイなどの国境を超えて逃げる人も数多く、食糧や医療の不足に苦しんでいます。

民主派への弾圧



今も拘束が続くウィン・ミン大統領とアウン・サン・スー・チー氏

軍に捕らえられたアウン・サン・スー・チー氏は汚職や選挙不正など複数の罪に問われています。裁判は非公開で進められ、19の罪状で禁固33年の有罪判決を受け収監されています。

>>> ミャンマー国際支援機構が <<< SUPPORT ACTIVITIES

重視する2つの支援活動

NPO法人ミャンマー国際支援機構は、在日ミャンマー人や日本人社会活動家、衆参両国会議員らとともに設立しました。私達は「人道支援」と「民主化支援」の2つを柱に、未来のミャンマーのために活動していきます。

人道支援

本当に必要とする人々へ食糧・医療支援



モン州における食料支援の様子
(写真提供: 井本勝幸氏)



米や食用油などの支援が多い
(写真提供: 井本勝幸氏)

ミ ャンマーには国際社会から多くの支援が寄せられていますが、軍の監視下で行われる支援が多いため、軍と対立する人々には支援が届かないという問題も指摘されます。その中で、軍の目から逃れ地方へ直接支援物資を届ける活動を続ける個人や団体が存在します。当機構も彼らと連携し、きめ細やかな支援体制の構築を目指します。また、日本に逃れてきた難民のサポートなども積極的に行う予定です。

民主化支援

国民統一政府「NUG」の活動をサポート



NUG結成一周年式典の様子



NUG駐日代表ソー・バラ・ティン氏と永杉代表理事

今 のミャンマーを取り巻く問題を根本から解決するためには、軍による支配を終わらせて民主主義を取り戻すことが求められます。当機構では、クーデター発生後に設立された国民統一政府「NUG」を支持し、NUG駐日代表事務所と連携しながら民主化の後押しを進めます。また、日本政府に対して、軍評議会(SAC)をミャンマー政府として認めないように強く働きかけていく活動を進めます。

ミャンマーの困窮者を助けてください

* 少額でも毎月継続のご支援をお願いできれば幸いです。

個人・企業・団体様ご寄付の請求書・領収書の発行はご遠慮なくお申し付けください。

1口 3,000円

◆ 何口でもありがたくお受けいたします ◆

1回サポート / 毎月サポート
お選び頂けます

<https://miao.or.jp/support>



振込先

銀行名 PayPay銀行
支店名 ビジネス営業部(005)
口座番号 普通 6144640
名義 トクヒ)ミャンマーコクサイシエンキコウ

ご入金後、当サイトの「お問い合わせ」より
ご一報頂けましたら幸いです



理事
石橋通宏
(立憲民主党 参議院議員 /
ミャンマーの民主化を支援する
議員連盟事務局長)

代表理事
永杉豊
(MYANMAR JAPON CO., LTD CEO)

理事
逢沢一郎
(自由民主党 衆議院議員 /
日本ミャンマー友好議員連盟
会長)

監事
藤縄善朗
(日本ミャンマー友好協会会長 /
前鶴ヶ島市長)



特定非営利活動法人

ミャンマー国際支援機構

Myanmar International Assistance Organization(略称MIAO:ミャオ)

150-0001 東京都渋谷区神宮前六丁目23番4号桑野ビル2F

MAIL_ info@miao.or.jp TEL_ 03-4405-0041

(ボランティアを中心に運営するため、極力メールでのお問い合わせにご協力をお願いいたします)

<https://miao.or.jp/>

BUSINESS NEWS DIGEST

ビジネスニュース・
ダイジェスト



ティラワSEZに メガソーラー計画

軍評議会(SAC)電力省は3月20日、ヤンゴン管区タンリン郡区のティラワ経済特別区(SEZ)に、最大14メガワット(MW)の太陽光発電システムを設置する計画を発表した。

現在、ティラワSEZ内の3工場に太陽光発電システムが設置され2MWを発電しているが、今後この規模を拡大するという。

ミャンマー・ジャパン・ティラワ・デベロップメント(MJTD)によると、余剰電力が発生した際は電力省の送電線を通じて同SEZ内に配電する計画だという。



©Global New Light of Myanmar

韓国に流出するミャンマー人材、 韓国語能力試験受験者が昨年の2倍に

労働省傘下の海外雇用庁(POEA)は3月13日、4月17日に実施される韓国語能力試験(EPS-TOPIK)の受験申込者数が74,922人になると発表した。

昨年の受験者数は約37,000人だったが、およそ2倍に増加した。今年は対象にサービス業が追加されたほか、初めて女性の受験も可能になった。そのため受験者も急増したとみられる。

同省によると、韓国のEPSシステムによりこれまでに7万人のミャンマー人労働者が製造業や建設業、農業、畜産業などの分野に派遣されたという。

ヤンゴン管区投資委員会、 4社の新規投資を認可

ヤンゴン管区投資委員会(YRIC)は2月21日の会合で、国内企業3社と合弁事業1社の投資案件を認可した。

認可されたのは、ホテル、建設資材の生産販売、米の粉碎・輸出版売などの業種で、投資総額は91億5,180万Ks(およそ6億5,500万円)と70万4,000米ドル(およそ1億550万円)。

YRICは、今年1月に8社の投資案件を認可している。

中国の高級EVブランド「ZEEKR」、 ミャンマーでも販売へ

中国の大手自動車メーカー吉利汽車のEVブランド「ZEEKR(ジーカー)」が、ミャンマーやタイ、ラオス、フィリピンなどに輸出されることが明らかになった。

同社は、ミャンマーとフィリピンの自動車輸入業者および販売業者と契約を締結しており、今年6月までにタイに支店を設立し販売を開始する予定だという。

ミャンマー軍評議会(SAC)は、ガソリンの輸入を削減するためにEVの普及に力を入れており、輸入関税や商業税を免税し優遇している。しかし、電力事情が悪化しているミャンマーでは市民の関心が薄く、2023年に登録された電気自動車の台数は3万台の輸入目標に対して1,888台にとどまっている。

タイでミャンマー人の コンドミニアム購入が再び急増

タイ政府住宅銀行傘下の不動産情報センターは、ミャンマー人によるタイでのコンドミニアム購入が急増していることを明らかにした。地元経済紙「クルンテープ・トラキ」が3月4日に報じた。

同センターのウィ・チャイ所長代行によると、子供をタイに留学させるミャンマー人富裕層が多く、2021年のクーデター以降の政情悪化もあり、バンコクや南部ブーケット、北部チェンマイでのコンドミニアムの購入需要が高まっているという。

ミャンマー人によるコンドミニアムの購入は、2022年に349戸と前年の31戸から急増し、購入価格は総額25億5100万バーツ(およそ107億円)だった。2023年はこれをさらに上回る564戸、37億700万バーツ(およそ156億円)となった。

また、2023年にコンドミニアムを購入した外国人を国籍別にみると、ミャンマー人は全体の4.3%を占め、中国、ロシアに続く3番目となった。平均価格は、ミャンマー人が1戸当たり650万バーツ(およそ2,720万円)で最高だった。

ミャンマー中央銀行、 2週間に35億円相当の外貨を売却

ミャンマー中央銀行(CBM)は、3月1日から15日までに総額35億円相当の外貨を売却した。

CBMは同期間に1500万米ドル(およそ22億5,000万円)、700万中国元(およそ1億4,700万円)、2億6200万タイバーツ(およ

そ10億9,800万円)を断続的に売却したという。いずれも具体的な為替レートは明らかにされていない。

ミャンマー・バングラデシュ 間の貿易停止

ラカイン州の戦闘激化により、3月3日からバングラデシュのタネフ港を経由したミャンマーの国境貿易が停止している。

ミャンマーは、これまでラカイン州のシットウェヤマウンドーの国境検問所を経由し農産物や水産物を輸出していたが、昨年9月からはシットウェ貿易ゲートのみを運用していた。

バングラデシュの地元メディアによると、昨年10月27日に始まった北部同盟の「1027作戦」以前は1日に20隻前後の貨物船が発着していたが、その後5~6隻に激減していたという。

なお、ラカイン州シットウェ郡区とマウンドー郡区の銀行では、通信トラブルにより海外送金が実行できず混乱が広がっているという。

ミャンマー国際航空、ヤンゴン ~タイ・チェンマイ線を開設

ミャンマー国際航空(MAI)が最大都市ヤンゴンとタイ北部チェンマイを結ぶ路線を4月3日に開設する。

ヤンゴン~チェンマイ線は日・水・金曜日の週3便で、チェンマイ国際空港到着が午後1時45分、出発は同2時45分を予定している。片道運賃は119米ドル(およそ17,700円)から。

MAIは、ヤンゴンとラオスのビエンチャン、バングラデシュのダッカを結ぶ路線を5月から6月に就航。ヤンゴンとバンコク・ドムアン線を増便すると発表した。

ミャンマー中銀、ヤンゴン空港で 海外渡航者に外貨販売

ミャンマー中央銀行(CBM)は2月23日、ヤンゴン国際空港で海外渡航者向けに外貨販売を開始したと発表した。

CBMによると、デビットカードやクレジットカードにより渡航目的に応じて1人あたり300~500米ドル相当の外貨購入(両替)が可能だという。

対象は米ドルやユーロ、シンガポールドル、タイバーツ、マレーシアリングギット、中国元、日本円。それぞれのレートは明らかになっていない。

ミャンマー税務会計

なでしこ通信

第98回 4月行く人来る人～所得税の負担割合～

4月は、ミャンマーにとってはお正月の位置づけ。大切な月です。年度も変わります。この時期は、日本からの駐在員の方の交代も多くなります。困難が続くミャンマーにおいては、今年は、離任があっても新任がいらっやらないなど、ミャンマーから去る日本人の方が多く、寂しい思いです。

この時期には、個人所得税の負担割合の考え方について、よく説明を行います。

ミャンマー出向等の日本人社員の方に関する日本とミャンマーにおける給料負担割合については、日本の親会社とミャンマーの子会社との間で、その駐在員の給与について、どちらがどれくらい負担するのかを適正に決める必要があります。この負担割合というのは、お給料を日本で振込支払しようが、ミャンマーで現金で支払おうが、そこは判断ポイントではありません。2社、あるいは複数社で、その給料のうち、どれだけを負担しているのかということを見ていくこととなります。

海外出向者の給料について、関連企業である子会社に出向しているのだから日本本社が給料を負担してもいいという考えは日本の税法では通用しません。海外子法人と親会社とは、別法人ですから、出向者にかかる費用については、出向先が全額負担すべきというのが基本的な考え方です。しかし、例外として、税務上、通達(法人税法基本通達9-2-47)で認められた給与格差の補填部分等に関しては、日本親会社側での損金算入が認められる、というのが、日本の税法上の建付けです。具体的にどこまでを日本側が負担してよいといった明確な規定がなく、個別に判断がなされるために、注意が必要となってきます。

通達9-2-47において、事例として、①出向先法人が経営不振等で出向者に賞与を支給することができないため、出向元法人が当該出向者に対して支給する賞与の額 ②出向先法人が海外にあるため出向元法人が支給するいわゆる留守宅手当

の額の2つがあげられています。①について格差補てんの対象として負担すべき額を認識するのは比較的容易なのですが、②については、その内容を明らかにしていない為、その運用にあたって見解の相違が生じる場合があります。いわゆる留守宅手当というのは、海外に赴任する出向者の家族が日本に残る場合のその生活費等を主とします。会社によっては、ハードシブ手当、現地教育手当など出向元である親会社が負担する場合もありますので、慎重に検討していく必要があります。

出向者の給料については、単純に本社と子会社で何%負担するという取り決めをしていれば良いということではありません。日本側での税務否認を防ぐためには、出向先が負担すべき金額を負担しているかどうかという点が重要となります。つまり、出向者と同等の職務、能力を持つミャンマー現地採用者の相場を参照して、ミャンマーの出向先が、負担すべき相当の額をきちんと負担しているのか、という点が見られるということです。この金額以上を子会社が負担している場合には、税務否認されるリスクは下がります。根拠となる給与相場の資料などを集めておきましょう。

また、海外出向者について、給与のみならず、旅費その他の費用等の取り扱いについても、海外出向規程などで、しっかりと負担の根拠を定めておく必要もあるでしょう。これらのポイントについては、ミャンマー側の税務でも細かく追及されます。

給与格差の補てんについて、合理的な事由なく出向元が負担している場合には、日本側で、寄付金課税の適用を受ける可能性もあります。出向の格差補てん金について、移転価格税制の対象となることは考えにくいですが、技術やノウハウを持った社員を出向させる場合に、無形資産等の移転があったとして、移転価格税制の適用対象取引を認識すべき場合もあるので注意が必要です。

経理・労務・税金のご相談

日本人税理士による総合コンサルティング

- ・決算・入力代行・給料計算・労務相談・税務相談・M&A
- ・ローカルスタッフの教育・経理代行・会社設立・支店登記



若松裕子
ヤンゴン所長・税理士



原尚美
代表税理士



土屋貴嗣
ヤンゴン副所長



おかげさまで、ミャンマーオフィス開設11年目となります。日本とミャンマー、両面からの税務会計支援が可能です。ミャンマー事業のお悩みにワンストップサービスで、とことん対応!

M&A案件、工場会計承ります

ジャパンアウトソーシングサービス Japan Outsourcing Service Co., Ltd.

Tel +95-9-252405320 (若松) +95-9-404469726 (土屋) Mail japanoutsourcingmyanmar@gmail.com

No.411-412, 4th Floor, Hledan Center, 8 Ward, Kamaryut Township, Yangon, Myanmar.

税務はおまかせ!

ミャンマー Right Hand Associates

検索

価格はこちら

クーデター関連 ニュースまとめ

徴兵制に絶望し、若者が自殺した。隣国への出国も相次いでいる。将来を担う若者が減っていくのは、由々しき事態だ。3月22日までの主なニュースをピックアップする。

[3月22日]

「徴兵制反対」で逮捕、拷問の上殺害

エヤーワディ管区で3月20日、徴兵制に抗議した市民が逮捕され、2時間後に遺体となって返還されたことが明らかになった。

20日午前9時ごろ、同管区チャンギン市シュエタウンズ地区で徴兵制に関する住民調査が行われていたところ、住民の男性(55歳)が調査員に対して徴兵制に反対する意見を表明した。これを聞いていた密告者が通報し、数分後にミャンマー軍兵士や警察隊、軍系暴力集団「ピューソーティー」の構成員などが駆け付けたという。

地元住民によると、男性は連行されたが、2時間後に警察から遺体を引き取りに来るよう連絡があった。遺体は肋骨数本が骨折していたほか、内臓の一部が抜き取られていたという。



©Radio Free Asia

「ミャンマー 避難民 280万人以上に」国連発表

国連人道問題調整事務所(OCHA)は3月20日、ミャンマー全土の戦闘激化により、避難民の合計が280万人を超えたと発表した。

OCHAは、避難民は3月4日から18日までに10万人以上増加しており、北西部のザガイン管区カレー郡区とカニ郡区では25,000人以上が家を失ったと発表。ミャンマー軍と少数民族武装組織の戦闘が激化したラカイン州では、17郡区のうち15郡区で人道状況の悪化が深刻だと指摘した。

OCHAの統計によると、2021年2月のクーデター前の避難民はおよそ30万人だった。

ミャンマー軍兵士、タイへの逃亡相次ぐ

ミャンマー・タイ国境のカイン州チャーインセッチャー郡区で3月21日、ミャンマー軍兵士72人がタイ側に逃亡した。タイ国軍が武器を押収し、全員が拘束されていると

いう。

逃亡したミャンマー軍兵士は、少数民族武装組織カレン民族同盟(KNU)傘下のカレン民族解放軍(KNLA)と市民防衛隊(PDF)の合同軍が軍施設を攻撃するとの情報を事前に察知し、3月17日に駐屯地から逃亡、4日後にタイに不法入国した。

同郡区では、20日にも45人のミャンマー軍兵士がタイ側に密入国していた。関係者によると、駐屯地では食糧不足が深刻で、逃亡する兵士が急増しているという。



©DVB Burmese News

世界幸福度ランキング、ミャンマーは118位

国連の関連機関が毎年発表している世界幸福度ランキング(2024年度版)で、ミャンマーは143か国中118位にランクされた。昨年は137か国中117位で、順位を1つ落とした。

このランキングは、国際幸福デーの3月20日に発表しているもので、各国の国民に「どの程度幸せと感じているか」を評価した調査に加え、1人あたりの名目GDP、社会的支援、平均寿命、人生選択の自由度、性の平等性、社会の腐敗度などの項目を総合的に数値化したもの。

1位は7年連続でフィンランドで、最下位はアフガニスタン。日本は、前年より4つ順位を落とし51位だった。

[3月21日]

民主派NUG、少数民族武装勢力の同盟結成に反対

民主派の国民統一政府(NUG)は3月20日、少数民族武装組織7グループの同盟結成と自治に反対する声明を発表した。

NUGのチャー・ゾー報道官は、「軍評議会(SAC)の管理下で自治を行うということは、国民が望んでいる真のフェデラル民主国家の樹立というロードマップから逸脱している。多くの武装組織がミャンマー軍と戦っ



▲ヤンゴン屈指の商業施設・ジャンクションシティも人はまばらだ

て軍施設などを占拠しているときに、SACと協議して自治を行うのは誠実な方法とは言えない」と批判した。

全土停戦協定(NCA)に調印しているシャン州復興評議会(RCSS)、新モン州党(NMSP)、アラカン解放党(ALP)、ラフー族民主同盟(LDU)、民主カレン仏教徒軍(DKBA)、カレン平和評議会(KNLAPC)、パオー民族解放機構(PNLO)の7グループは、3月18日にタイのチェンマイで開催された協議会で「7 EAO アライアンス」を結成しており、SACがそれぞれの地域の自治権を認める見通し。

「ミャンマーの紛争は内戦に発展した」英国外相

英国のデーヴィッド・キャメロン外相は3月20日、タイを訪問し、セター・タウィーシン首相と会談した。

キャメロン外相は記者会見で、ミャンマーで続いている紛争は複数の勢力が関与する内戦に発展したとの認識を示し、ASEANや周辺国が介入し支援する必要があると語った。

その上で、英国はこれまでに1億2,000万ポンド(およそ231億円)をミャンマーのために拠出しているが、さらなる支援が必要だと述べた。

スー・チー氏の自宅競売、購入希望者現れず不成立に

ヤンゴン市内バハン郡区に位置するアウン・サン・スー・チー国家顧問の自宅について、競売会が3月20日に行われたが、不成立に終わった。

競売会はスー・チー氏宅の敷地内で行われ、カマーユッ県地方裁判所の競売担当官が競売参加者を確認したところ、希望者は現れず不成立に終わったという。

スー・チー氏の自宅を巡っては、兄のアウン・サン・ウー氏との間で数十年にわたり係争中で、ヤンゴン西地方裁判所は2016年にスー・チー氏が2階建ての建物を、兄が別の建物の所有権を、敷地についてはそれぞれ半分ずつ権利を有するとした判決を下していた。しかし、アウン・サン・ウー氏はこれを不服として2022年に最高裁に上告し、所有権が全面的に認められたことから、売却の意向を示していた

競売の最低入札価格は3,150億Ks(およそ225億円)と設定されていたが、今後ヤンゴ

ン管区裁判所が新たに最低入札価格と日程を調整し、再度競売会が行われる予定だという。



©Radio Free Asia

パスポート発行でブローカー横行、特急料金は60万Ks

シャン州の州都タウンジーでブローカーを経由したパスポート申請が横行し、最高60万Ks(およそ43,000円)の手料が請求されていることが明らかになった。

地元住民によると、通常手続きでのパスポート発行は申請から半年ほどかかるが、ブローカーを経由した場合は最速で2日後の発行が可能だという。

料金は、1か月後の発行で27万Ks(およそ19,400円)、1週間後は40万Ks(およそ28,700円)、2日後は60万Ksと期間に応じて細分化されている。また、ブローカー経由で身分証明書の情報変更やパスポート更新、ビザ申請なども可能だという。

[3月19日]

プーチン大統領に祝電、軍評議会トップ

軍評議会(SAC)トップのミン・アウン・フライン総司令官が、ロシアの大統領選で圧勝したプーチン氏に祝電を送ったことが明らかになった。

ロシアの複数メディアが報じたもので、祝電には、プーチン大統領の再選はロシア国民の全面的な支持を示しており誇りに思うとの記述があったという。これまでのところ、SACからの正式な発表はない。

ミン・アウン・フライン総司令官は2022年にプーチン大統領と会談しており、総司令官はプーチン大統領を「世界に平和と安定をもたらすために尽力する世界指導者だ」と称賛、プーチン大統領は「ミャンマーは東南アジアで信頼できる長年のパートナー。我々の関係は前向きな方向に進展している」と両国関係を評価していた。

徴兵で国民兵に選ばれた若者が自殺

ミャンマー中部のエーヤワディ管区で、徴兵制に基づく国民兵の抽選会で選ばれた若者が自殺したことが明らかになった。

地元住民によると、エーヤワディ管区カンジーダウン郡区イェートウインジー村で3月16日、抽選会が行われ若者3人が選ばれた。このうち20歳の若者が徴兵されることを苦にし、17日に自殺したという。現在、

警察が遺族に対して事情聴取を行っている。同管区の一部郡区では、3月中旬から地区管理委員会の役員などが抽選会を開き、一村あたり2~3人の国民兵を選出しているという。

[3月18日]

ミャンマー金価格の高騰続く ヤンゴン金業協会が警告

ミャンマーでは、「安全資産」として金に資金の流入が続いており、取引価格は連日最高値を更新している。

3月16日の価格は1ティカル(約16.6g)あたりの価格は417万Ks(およそ296,000円)だった。軍評議会(SAC)統制下のヤンゴン金業協会(YGEA)は、基準価格を上回る価格での取り引きをしないよう通達し、違反者は摘発すると改めて警告した。

YGEAは1日に数回の基準価格見直しを行っているが、16日の基準価格は1ティカルあたり392万Ks(およそ278,000円)で、依然市場価格との乖離が続いている。

[3月15日]

韓国に流出するミャンマー人材、韓国語能力試験受験者が昨年の2倍に

軍評議会(SAC)労働省傘下の海外雇用庁(POEA)は3月13日、4月17日に実施される韓国語能力試験(EPS-TOPIK)の受験申込者数が74,922人になると発表した。

昨年の受験者数は約37,000人だったが、およそ2倍に増加した。今年を対象にサービス業が追加されたほか、初めて女性の受験も可能になった。そのため受験者も急増したとみられる。

同省によると、韓国のEPSシステムによりこれまでに7万人のミャンマー人労働者が製造業や建設業、農業、畜産業などの分野に派遣されたという。



©DVB Burmese News

[3月12日]

「ミャンマーの7割、治安悪化が深刻」シンクタンク発表

非政府系シンクタンクのISPミャンマーは、2021年2月のクーデター以降の3年間に、ミャンマーの7割近くの地区で治安に深刻な影響があったとの分析を発表した。

ISPミャンマーによると、同期間に1回以上の銃撃戦があった郡区数は228郡区に達した。これは、全国の郡区総数(330郡区)の69%に相当する。

また、228郡区のうち治安上の危険レベル

が高い地域は154郡区にのぼり、戦闘が激化するザガイン管区ではほとんどの地域が含まれると報告している。

大学入試受験者が大幅減

軍評議会(SAC)教育省は、3月11日から大学入学資格試験(兼高等学校卒業試験)を開始した。

大学試験の受験者はNLD政権時代の2019年(91万人)をピークに年々減少しており、今年の志願者は146,523人で昨年よりも20%近く減少した。同省によると、初日には128,801人が受験し、17,722人が欠席したという。

SACの教育制度に反対し受験をボイコットする学生が多く、最大都市ヤンゴンの受験者数は18,933人(男性8,609人、女性10,324人)にとどまった。



©DVB Burmese News

[3月11日]

ミャンマー経済公社の官舎に砲撃 ヤンゴン

ヤンゴン市ミンガラタウンニュー郡区で3月10日、官舎が砲撃された。

この官舎には、軍系のミャンマー経済公社(MEC)幹部が居住しているとみられ、3月10日午前5時ごろに砲弾が撃ち込まれたという。

地元市民防衛隊(PDF)は、「MECがジェット燃料の輸入や流通を主導しており、ミャンマー軍が関係する場所は、いつでも戦地になりうる」と警告するために実行した」との声明を発表した。

[3月8日]

日本政府、ミャンマーに3,700万米ドルの追加人道支援

日本政府は3月8日、ミャンマーに約3,700万米ドル(およそ55億円)の追加人道支援をすると発表した。

具体的には、国連児童基金(UNICEF)や国連世界食糧計画(WFP)、国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)とNGOを通じて、医療サービスの実施や食料・医薬品の配布などを行う。

上川外務大臣は記者会見で、「2月に徴兵制実施が発表され、情勢がさらに混乱することを深刻に懸念する。我が国は、ミャンマー軍に対して平和的な問題解決に具体的に取り組むよう引き続き強く求める」と述べた。

Myan Japo 特製MAP

使える

地図の記号

- カフェ
- ナイトスポット
- 日本料理屋
- SPA・マッサージ
- 韓国料理屋
- その他料理
- レジャースポット
- パゴダ・寺院
- 病院
- 大使館
- 公的機関
- 郵便局
- 学校
- ホテル
- ショッピング
- 観光地
- オフィス
- 工場
- スポーツ施設
- ゴルフ場・練習場
- マンション

以下のサイトからPDF版が
ダウンロードできます
<http://myanmarjapo.com>

ミヤウツカカラバ
မြောက်ကလာပ

ミヤウツダゴン
မြောက်ဥဒဂွန်

マヤンゴン
မြောက်ဥဒဂွန်

ミンガラドン
မင်းဂလာဒုံ

インセイン
အင်းစိန်

ライン
ရင်း

オウチン
အုတ်စင်

タマイン
ထမ်း

タウンオウツカカラバ
တောင်ကလာပ

ヤンキン
ရန်ကင်း



A B C

1

2

3

4

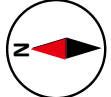
A B C



**タクシ-運転手対策の
ミャンマー語表記**

「ラン」とはミャンマー語
で道 (Road・Street) のこと。
「ブ-ダー」とはミャンマー
語で駅 (Station) のことを
指す。

ヤンゴン(ランダ-ン) 全域
Yangon (Rangoon)







ヤンキン
ရန်ကင်း

ティンガンチュン
သက်န်းကျွန်း

タームエ
တာမ္မေ

チャウミヤウン
(ကျောက်မြောင်း)

ミンガラタウン
မင်္ဂလာတောင်ညွန့်

シュエダゴン・パゴダ周辺
~インヤール湖(南)





《ミニ知識：ダウンタウンの名称ルール》
 ダウンタウンの一部などは碁盤の目になっていてわかりやすい。縦の通りは西から順に東へ数え、原則 2 つの数字の通りを挟んで 1 つの大通り。

ヤンゴンダウンタウン
 Downtown of Yangon

© MYANMAR JAPON CO., LTD. MAPの無断転載を禁じます



A

B

ティラワ経済特別区 (SEZ)

0 500m

地図の記号

-  工場
-  オフィス
-  倉庫
-  銀行



※地図上に記載されている社名には、建設中・稼働中の双方が含まれます

ZONE A (405Ha)

ヤンゴンからゴダを南下しかつては凸凹スムーズに走

1

2

ガソリン補給のタンクローリーで渋滞するため、こちらは通らないのが一般的



A

B

3

は有名なチャイカウパ
ていくルートが一般的。
だった道路も整備され、
れるようになった



**ZONE B
(101Ha)**



ティラワのランドマーク
である正面ゲート

1
2
3

ZONE A (405Ha)

ZONE B (101Ha)

ティラワ経済特別区(SEZ) ZONE B

地図の記号

- 工場
- オフィス
- 倉庫
- 水処理場

※地図上に記載されている社名には、建設中・稼働中の双方が含まれます

ミャンマー キナン

住友電装

DS Myanmar

Unique Sea Products Myanmar

Norman Myanmar

SEWAGE SENDING STATLON

Toyo Ink Myanmar

Oshimanoki Myanmar

Yangon Industrial Gas (Thilawa)

Kubota Myanmar

Slam GS Battery Myanmar

RK Yangon Steel

LS-Gaon Cable Myanmar

JFE Meranti Myanmar

Sports Gear (Myanmar)

TOYOTA MYANMAR

OKAMURA TRADING MYANMAR

TO Plaspack

Liwayway Foods

Lightion Myanmar

Advanz Beverage Manufacturing

YUKIOH

SAINT GOBAIN

BS Yangon

DAE-A ELECTRONICS MYANMAR

Tohno Precision Myanmar

Hansac Myanmar

Aller Aqua Myanmar

SEWAGE SENDING STATLON

TOYO INK MYANMAR

Oshimanoki Myanmar

Yangon Industrial Gas (Thilawa)

Kubota Myanmar

Slam GS Battery Myanmar

RK Yangon Steel

LS-Gaon Cable Myanmar

JFE Meranti Myanmar

Sports Gear (Myanmar)

TOYOTA MYANMAR

OKAMURA TRADING MYANMAR

TO Plaspack

Liwayway Foods

Lightion Myanmar

Advanz Beverage Manufacturing

YUKIOH

SAINT GOBAIN

BS Yangon

DAE-A ELECTRONICS MYANMAR

Tohno Precision Myanmar

Hansac Myanmar

Aller Aqua Myanmar

MJTDの前の道を東側に3分ほど進み、一つの十字路を右折する



ゾーンBへの入り口は現在こちらのみ。ゾーンAからは車で6、7分ほど

MYANMAR JAPAN ONLINE

法人プレミアム会員

募集中

請求書払い・銀行振込OK

- ① 最新ニュースやバックナンバーが読み放題
- ② プレミアム限定コンテンツも閲覧可能
- ③ 複数(アカウント)ID割引でさらにお得に

QRコード

ミャンマー情勢やビジネス環境を把握するなら「プレミアム」が不可欠

ミャンマー・ジャパン法人

世界27カ国にわたる実績あるEJC Asia
海外ネットワークにより、最適で高品質な物流サービスをご提供いたします。

EJC Asia (Myanmar) Co., Ltd.
Room 8A, No.8, Danatheikdi resident, Danatheikdi street, 8 Quarter, Mayangone Township, Yangon, 11061, Myanmar
E-mail : info@ejcasia.com Phone : +95-(0)9-421124747(担当:ト)

ミャンマー最新情報をどこよりも早く!

ビジネスマン必読! プレミアム会員のメリット

- ① 最新ニュースが読み放題
- ② 過去の全ニュースを閲覧可能
- ③ 全バックナンバーがネットで閲覧可能

7日間無料いつでも解約可能!

月額5900円(税込6490円) myanmarjapon.com



MYANMAR
CENTRE



AN INTERNATIONALLY RECOGNIZED BUILDING IN YANGON

An upscale mixed-use building with the Meliá Yangon Hotel, Myanmar Centre Office Tower, Myanmar Plaza Shopping Mall, and luxurious residences for a vibrant balance of work and leisure.



RETAIL & OFFICE SPACE FOR LEASE

AT A PRIME CORPORATE LOCATION

IN THE HEART OF YANGON

Close proximity to

EMBASSIES

- U.S. Embassy
- Korean Embassy
- Singapore Embassy

EDUCATION & MEDICAL

- Yangon University
- Myanmar International School
- Yankin Children's Hospital

CULTURE & HERITAGE

- Shwedagon Pagoda
- Fushan Chinese Temple

SPORTS & RECREATION

- Yangon Sailing Club
- Kokkine Swimming Club

SHOPPING & ENTERTAINMENT

- Myanmar Plaza
- Marketplace by Citymart

HOANG ANH GIA LAI MYANMAR COMPANY LIMITED A MEMBER OF THACO GROUP

192, Kabar Aye Pagoda Road, Bahan Township, Yangon
+95 1 934 55 66 ~ 68

www.haglmm.com

✉ leasing@haglmm.com



Hotline:

09 785 559 678

MIYANMAR
 **JAPON**
ONLINE

WEBサイトを開く

<https://myanmarjapon.com/>